

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進	事業番号	008-036
担当部署名	文化観光 局	文化国際 部	文化 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9

2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画		
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内外の与謝野晶子・文学愛好者等	対象数	—	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	与謝野晶子は本市が生んだ日本の近代文学を切り開いた歌人の一人であり、幅広い分野において多くの業績を残している。こうした晶子の業績・メッセージ・生き方について、広く市内外に発信し、その顕彰を行うことにより、堺の文化的特色の創出や市民の郷土愛の醸成を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	与謝野晶子を学び研究し、継続的に顕彰する文学研究家、歌人、愛好家等幅広い人材で組織された総合的な組織である与謝野晶子倶楽部が行う事業に対し助成を行う。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	与謝野晶子倶楽部 (補助金)				
10	公民連携・協働事業	与謝野晶子の顕彰施設である、さかい利晶の杜と連携し事業を実施。				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	与謝野晶子の顕彰を通じた都市魅力の向上			
	当該目標を設定した理由	顕彰事業を通じ、堺ゆかりの先人の功績等を広く発信することが、都市魅力の向上に繋がると考えるため。			
	目標に対する実績	令和4年度市政モニター調査で、与謝野晶子を含めた堺ゆかりの先人たちを世界に誇れる堺の歴史文化資源と考えていると答えた方の割合が8割			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標
	与謝野晶子倶楽部事業への参加者 (短歌大会、各種講座)	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	6,000	6,000	8,000
		実績値	5,092	9,519	
達成率	85%	159%			
	当該指標を選定した理由	より多くの方に事業参加いただくことが、与謝野晶子の功績や生き方を知り、短歌への理解を深めていただくことに繋がると考えるため。			
	目標値の設定根拠・算出方法	晶子フォーラム参加者、短歌大会投稿者、各種講座参加者			

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	与謝野晶子顕彰事業の推進	事業番号	008-036
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	890	1,459	1,478	1,413	1,478
13 財源内訳	国支出金		0		
	府支出金		0		
	市債		0		
	その他 ()		0		
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		
	一般財源	890	1,459	1,478	1,413
14 人件費 (b)	7,130	6,520	6,520	6,520	6,580
15 年間経費(c)=(a)+(b)	8,020	7,979	7,998	7,933	8,058

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R4	決算
16 事業費内訳	倶楽部補助金	R4	決算	1,400	1,400	R4	決算		
		R5	予算	1,400	1,400	R5	予算		
	消耗品費	R4	決算	0	0	R4	決算		
		R5	予算	40	40	R5	予算		
	旅費	R4	決算	13	13	R4	決算		
		R5	予算	38	38	R5	予算		
		R4	決算			R4	決算		
		R5	予算			R5	予算		
	R4	決算			R4	決算			
	R5	予算			R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 短歌大会投稿者、各種講座等の事業参加者	人	5,092	9,519
② 上記①にかかる年間経費	千円	7,966	7,933
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,564	833
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年度は、与謝野晶子倶楽部で予定していた晶子フォーラムや入門講座等の全ての事業を実施することができ、多くの方に参加いただくことができました。また、第3回を迎えた全国の高校生から短歌を募集する「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」でも、昨年より多くの投稿をいただき、目標とする事業参加人数を大きく上回り、費用対効果を上げることができました。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 与謝野晶子倶楽部事業の講演・講座の多くはさかい利晶の杜との共催事業であり、当該施設に多くの方が来訪されるきっかけとなっている。フェニーチェ堺では晶子フォーラムを開催し、晶子に関する合唱、講演会を実施することで、来堺の機会を創出することができた。また、「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」を通じて、晶子短歌の魅力や堺市について次世代に向けて広く発信することができ、来訪のきっかけをつくることができたと考えます。